

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、15～21℃台を示し、やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の3.8倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり0.4トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり13トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり33kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり928kgの水揚げで、前週の4.5倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり25kgの水揚げで、前週の2.5倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり76kgの水揚げで、前週の7倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり3kgの水揚げで、前週の75%（前年を下回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり73kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり62kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり52kgの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり20kgの水揚げで、前週の4倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/20～4/25の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚中。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖～佐渡沖で操業。鳥取県西部（沖合船）3日延20隻、総計856箱、1航海最高139箱、平均42.8箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～40入。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

次回の漁海況週報は、令和4年5月13日（金）の発行になります。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>